

平成14年度ホタテガイ採苗情報(第9報)

平成14年6月7日
発行:岩手県水産技術センター
協力機関:沿岸地方振興局水産部

「県中南部の採苗数は、多い見込みです。」

1 ラーバの出現状況

6月6日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、殻長200 μ m未満が20個/トン、200 μ m以上が25個/トンと、前回調査時(合計10個/トン)より増加しました。

なお、調査時の水深10m層の水温は13.6 $^{\circ}$ Cで、前回調査時に比べ2.7 $^{\circ}$ Cも上昇しています。

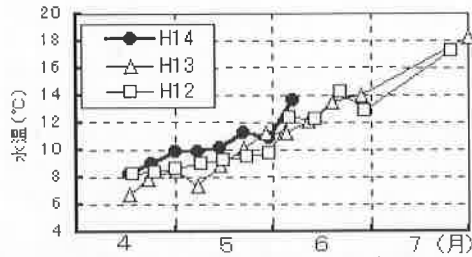


図 唐丹湾における水深10m層水温

2 試験採苗器への付着状況

6月6日に唐丹湾で調査を行いました。5月30日から水深10m層に垂下した採苗器を調べたところ、1,339個/袋の付着稚貝が確認されました。付着数は、再び増加に転じ、これまでの最高値となっています。

なお、付着稚貝の2割程度が付着直後の個体でした。

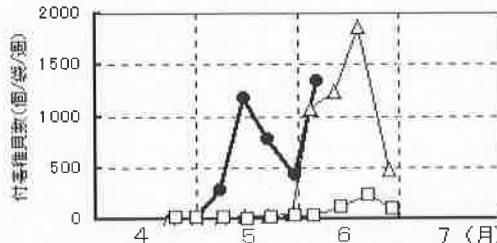
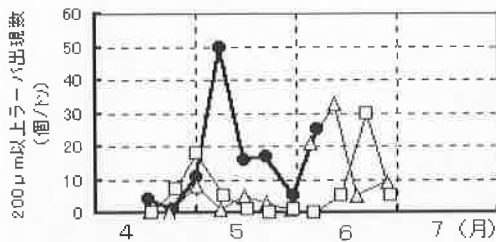


図 ホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

県中南部では、採苗数が非常に多かった平成11年には及ばないものの、付着が多い状態が約1ヶ月にわたり続いていることから、今年の採苗数は多いものと推測されます。

次報は、7月中旬に実施予定の付着稚貝調査の結果について、おしらせする予定です。



○: 主産地調査
●: 付着稚貝調査 (調査地点: 採苗器垂下期間、付着稚貝数)

図 調査地点および付着稚貝調査結果